

平成30年度主催・共催事業報告

荒川クリーンアップ大作戦

5月26日(土)・10月13日(土)

5月26日(土)と10月13日(土)の両日、午前7時から荒川沿線6カ所にそれぞれ集合し、荒川クリーンアップ大作戦を開催いたしました。今年も多くのお客様や地元の方々に参加していただき、感謝申し上げます。

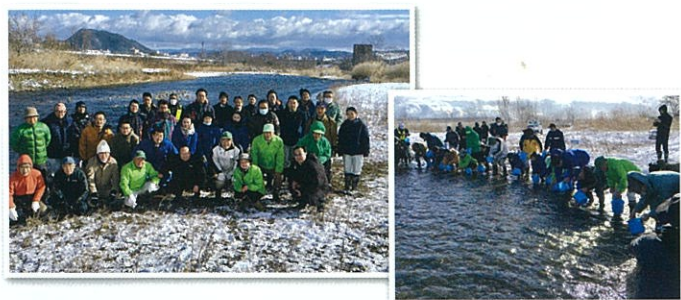


8年連続水質日本一もこのような活動の積み上げから達成できたものと思います。今後も続けてまいりますのでご協力をお願いいたします。



荒川にサケの稚魚放流

1月9日(水)



平成31年1月9日(水)荒川・仁井田橋下流で「サケの稚魚」約4000尾を放流しました。これは阿武隈川漁業協同組合様のご協力で毎年実施している事業です。会員や地元の方々約50名が参加し、心を込めて放流しました。

この稚魚は、荒川を約4km下り、阿武隈川を約77km下って太平洋を北上し、ベーリング海を回遊して、また4年後には荒川に遡上してくれるものと思います。

あらかわ自然楽校 荒川流域の歴史探訪

6月9日(土)・10月20日(土)

テーマは「旧米沢街道をゆく」荒川左岸・昨年の荒川右岸に続き第二回目の探訪会でした。講師は市史編纂室・柴田俊彰氏。

参加者22名。吾妻学習センターでパワーポイントによる座学の後、福島市の成り立ちにも関わる「王老杉伝承之地」を訪ねました。

その後「中世の道・旧米沢街道」フィールドワーク。館の下橋少し下流の「館の道標」を確認して、福島道・大森道の「追分道標」当時栄えた「庭坂宿」を辿りました。旧米沢街道は、伊達氏が軍事の為に開削、上杉氏が参勤交

代・物資輸送などの為に整備し「李平宿場跡」「石畳」なども残されています。明治14年「初代万世大路」が開削されるまで、福島・米沢を結ぶ重要な街道でした。

鬼県令「三島通庸」が住んだと言われる「庭坂・湯町」そして「伊達政宗」「上杉景勝」「三島通庸」に思いを馳せながら、歴史の道「旧米沢街道」を楽しく探訪できました。



外来植物調査 10月6日(土) 河川パトロール 5月～3月

外来植物調査は、八木田橋から信夫橋間の右岸と左岸に生えている、アレチウリ、とセイダカアワダチソウの分布状況について目視で確認しました。堤防の除草が行われているため昨年より繁茂域は少なくなっていました。

河川パトロールは、5月から3月までの第2日曜日に小富士橋から信夫橋間を、隔月毎に右岸と左岸の堤防を自動車で

どで移動して、河川施設の異常の有無、河川の利用状況、廃棄物の不法投棄などについて調査し、不法投棄のゴミはその都度拾い集めました。車進入禁止の留め金を壊してあったこともありました。

不法投棄は河川の水質悪化を招き、景観も害します。皆の努力で水質日本一の荒川を守って行きたいと思います。



視察交流研修会

第一回(阿武隈川舟運の名残を訪ねて)

6月12日(火)

江戸時代、年貢米の輸送など交通の主役は舟運でした。

まずは舟運の名残を今に伝える「阿武隈川ライン下り」を体験。昼食で「海の幸」を満喫した後「阿武隈大堰」を見学。突っ込んだ質問に担当の方もビックリ!でした。阿武隈川・名取川を結ぶ「貞山運河・木挽堀」「新浜水門」から「関上水門」と移動…舟運の歴史を心に刻み(参加者20名)無事帰路に着きました。



第二回(山形長井市方面に視察研修)

9月4日(火)

9月4日に本年度第2回目の視察研修を実施しました。視察は米沢市の直江兼続が造ったといわれる土木遺産、「直江石堤」を視察。

続いて長井市の最上川フットパスで歴史のある街並みを散策。最後に高さ125mの長井ダムを見学しました。このダムは、洪水の調節、農業用水、上水道、発電の機能をもった多目的ダムであります。

この度の研修会は、川にかかわる文化と施設について学ぶことができました。



吉井田地区文化祭に参加

10月27日(土)・10月28日(日)

吉井田地区文化祭は10月27日、28日に開催され、当協議会では本年度の活動状況写真及び、土木遺産である荒川の堰堤の解説と写真を展示しました。

また、来場者に休憩しながら水質日本一の荒川を紹介する荒川に関するDVDの放映コーナーを設けたため、皆さん興味深く見ておりました。



荒川桜並木の手入れ

1月9日(水)

荒川のさくら橋上流にある桜は平成12年に荒川千本桜として植栽し、ようやく見事な花を咲かす木に成長いたしました。

この桜の樹形を整えるため荒川づくり協議会では、1月9日に剪定作業をしました。余分な枝を切り落とし、一部の木にはテングス病にかかった枝もありましたので取り除きました。荒川の桜が立派な木に育ち名所となることを願い、毎年実施しております。



荒川水管橋橋台撤去工事現場視察

長年市民のために水の供給をしておりました桜つづみ荒川の水管橋がこのほど撤去されました。

平成31年2月6日水管橋橋台が撤去された工事現場を国交省佐藤工務第一課長、菊池伏黒出張所長の案内、説明によって現場視察、見学することができました。荒川の土質、地質、開削時の橋台の構造、構造物、構築についても詳しく説明されました。国交省職員、工事関係者、荒川づくり協議会役員計15名が参加しました。

毎年、春の荒川フェスティバル前から鯉のぼりを多数掲げて楽しんだ水道橋でした。

川久保眞さんを悼む 伊藤賢之

昨年九月、ふるさとの川・荒川づくり協議会川久保眞顧問の突然の訃報に接し、大変驚きました。川久保眞顧問は荒川づくり協議会設立後に幹事、副会長として活躍されました。中学校の理科の先生として、植物、水生生物、鳥類など得意分野において、年数回の学習会や探訪会の講師として活躍されました。親しい仲間が他界し、寂しい気持ちでいっぱいです。心からご冥福を祈ります。



NEWS

ふるさとの川荒川 水質日本一8年連続

一級河川荒川が2017年(平成29年)河川水質調査で8年連続水質日本一に輝きました。東北では唯一、また全国でも北海道の尻別川、熊本県の川辺川の計三河川のみであります。当協議会の河川パトロール、クリーンアップ作戦は荒川近辺の企業、住民の方とともに環境整備に取り組んできた成果であると感謝しております。さらに忘れられないことは16年前、荒川にはゴミが山積みになり、不当投棄されていました。平成15年1月7日降り積もった雪の中、陸上自衛隊福島駐屯地の訓練始めの行事がゴミ処理で、大型ダンプにして可燃ゴミ6台分、不燃ゴミ8台分にもなったのです。現在はゴミの無い美しい景観の荒川となっております。

助成金に感謝

当協議会に対し、今年度は次の2団体様より活動助成金を支援していただきました。森林整備の備品購入森林教育、学習の機器の購入に使用し、また当協議会の機関紙広報誌発行に大変助かりました。長年一同心より御礼感謝申し上げます。

- ◆(一財)福島県林業会館フォレスト助成事業(協賛)
- ◆福島信用金庫助成事業